

日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中

特許調査実務者向け（初級～中級者）  
2015年度 特許情報検索セミナー

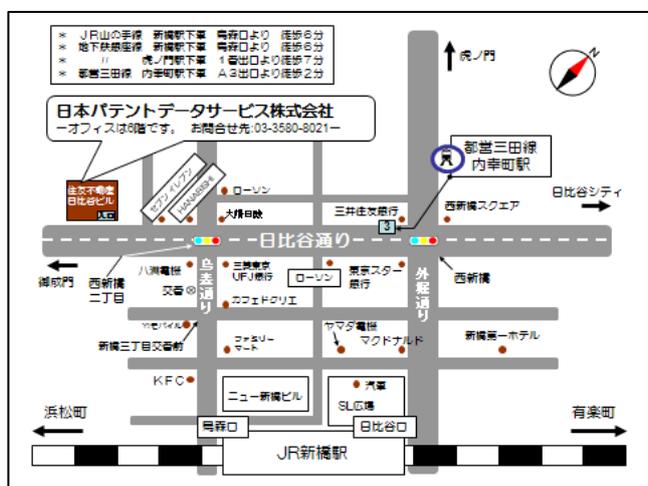
# 特許調査の基本とその評価

製品イメージを捉え、自社事業に即した特許調査とは？  
調査の着手段階、検索式作成から調査結果の自己チェック方法

B  
27



実際の特許調査の場面において、特許調査の依頼者から出された依頼内容（技術テーマ）を正確に把握した結果を導くことは易しくはありません。依頼者とのコミュニケーション不足や思い込み、調査結果の検証不足によることもその一因です。「製品イメージを捉え、自社事業に即した特許調査とはどのようなものか？」「調査の着手段階における確認すべきポイント」、「製品イメージを捉えた先行技術調査」、そして「調査結果の自己チェック方法」を企業からの特許調査業務で日々活躍されているプロサーチャーがノウハウをお伝えします。



**講師：酒井 美里**  
スマートワークス(株) 代表取締役  
元セイコーエプソン(株) 知的財産本部

**場所：日本パテントデータサービス(株) セミナ室**  
東京都港区西新橋2-8-6  
住友不動産日比谷ビル6F  
TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

**時間：1日間コース（午前 10:00～午後 4:00）**  
**受講料：20,000 円（税別）**  
**定員：24 名（先着順申し込み）**  
**日程：6月11日（木）、11月17日（火）**

【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpbs.co.jp  
(受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)  
【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

## 「特許調査の基本とその評価」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名	
住所	〒				
TEL				FAX	
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 6月11日 <input type="checkbox"/> 11月17日				
受講者氏名		所属		特許経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail				弁理士番号	
受講者氏名		所属		特許経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail				弁理士番号	
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引口座: )				
備考:	※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)				

## セミナースケジュール（特許調査の基本とその評価）

午前 10:00	講師ご紹介
10:05	<p>◆特許調査の前にすべきこと ～事前ヒアリングのポイント～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションとヒアリングの類似点と違い</li> <li>・ 技術者と知財担当者との技術認識レベルを一致させる</li> <li>・ ミスなく・漏れなく・誤認なく</li> <li>・ 調査ヒアリングの事前準備</li> <li>・ ヒアリング事例とチェックポイント</li> </ul>
11:45	昼休憩
12:45	<p>◆ヒアリングから検索式作成へ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50字要約について</li> <li>・ 「共起語」について</li> <li>・ 仮説の設定／ヒアリング</li> <li>・ 調査方針の設定／事例：健康食品</li> <li>・ 仮説と検索式の修正／ハズレ公報からの読みとり</li> <li>・ 同義語・類義語追加と本検索式への展望</li> <li>・ 事例による試し検索からの調査展開予測紹介</li> </ul>
14:20	休憩
14:30	<p>◆調査結果の自己チェック方法 ～妥当性を確認～</p> <p>－失敗事例の紹介 ～どんな状態がうまく行っていないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検証方法 ～ヒアリング結果で得た「課題」、「発明の本質」、「用途・効果」との対比</li> <li>・ 検索方針の立て直し方</li> </ul>
	質疑・応答
16:00	終了

### 【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。